

2003年6月3日

フォーカス  
伸び盛り企業

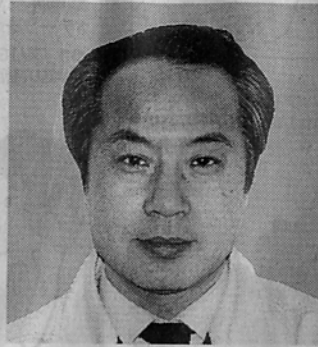
72

生産を中国などへシフトする動きが強まっているのに伴い、スキャナー検査システムの輸出が増えている。その中心的存在が九二年に設立されたエーエルティー。中国からのリピートオーダーに加え、台湾、韓国、タイへの輸出も始まり、海外への出荷は一段と増加する傾向にある。同社の社名は「Applied Laser Technology（応用レーザー）」の略。応用レーザーの中でも、レーザーस्क्यानに特化した業務を手がけている。

レーザーस्क्यानのアプリケーションは近年では自動車にも広がり、国内メーカーの新型車にはレーザーस्क्यानによるクルーズコントロールが搭載されている。これにより先行車に追従した速度制御が可能となった。同社では、この検査システムを納入している。また、宇宙の探査船の着陸に必要なのがレンジファインダー。レーザーを高速にस्क्यानして着陸地点の地形を測定するもので、日本でも宇宙開発事業団（NASDA）が中心となって実用化への研究をしている。同社もそのセンサーの開発の一部に携わっている。

エーエルティー

一方、ますます微小化が進む携帯電話の電子部品には、「BAG」と呼ばれる小型のパッケージが採用されている。これを確実に実装するためにはプリント基板の精度を高くする必要がある。同社ではその検査に用いる高速のレーザー三次元計測ユニットを供給



している。こうしたユニット供給などともに、システムの自社開発に

レーザーस्क्यानに特化

高野 裕社長

も注力している。

自社開発の「高速走査位置計測システム」は、毎分五万回転するポリゴンスキャナーの面倒れ量を連続測定する。肉眼では決してとらえられない一万分の一度の傾きさえも測定する精巧さを誇る。

同社では、この計測システムをバージョンアップ。レーザープリンター用のレーザーस्क्यानユニット対応測定ヘッドの追加とウィンドウズの新OS対応、ボイドの高集積化によるコストダウンを図り、市場に投入している。

レーザーस्क्यानは光学、電気、機構の技術が組み合わされた複合技術で成り立っている。例えばレーザーを等速に走らせたい場合、光学的にレンズで等速になるように設計できるし、機械的にスキャナーの回転速度を制御することによっても同様の効果が得られる。さらに、電氣的にレーザーをスイッチングすることによっても実現でき、これらの組み合わせも可能。つまり光学、電気、機構の組み合わせのブラックボックスの中で、何らかの形で仕様が満足されれば求められる要求に十分こたえられるわけだ。

同社では、これらの技術の組み合わせで、技術的、コスト的、納期的なネックを解消する総合力を発揮し、各業界からの支持を集めている。七月に開催されるインターオプト展（主催・日本工業新聞社）では、従来なかったタイプのレーザーस्क्यानの計測を発表する予定という。（チャレンジ企業取材班）

社長 高野裕氏 住所 東京都練馬区豊玉南1の21の10 2003  
・5946-7336 http://www.alt.co.jp  
◇資本金 2000万円  
◇事業内容 光学計測機器とその周辺機器のハードウェア、ソフトウェアの開発、製造・販売

火、水曜日に掲載